

目 次

1. 今回のシンポジウムの概要	1
2. 報告セッションの要約	4
2. 1 論文報告 「量的緩和政策 II—2001 年から 2006 年にかけての日本の経験に基づく実証 分析—」 本多佑三（報告者）・立花実 4 コメント 小枝淳子	
2. 2 論文報告「日本の長期停滞と『弱い企業統治』のマクロ経済学」 村瀬英彰 9 コメント 加納 隆	
2. 3 論文報告「金融システムとバブル」 平野智裕・柳川範之（報告者） 13 コメント 宮川大介	
2. 4 論文報告「中央銀行の政策運営におけるマクロ・プルーデンスの視点」 白塚重典 17 コメント 中村純一	
2. 5 論文報告「流動性危機について—Market Confidence とその崩壊—」 植田和男・小田 圭一郎 21 コメント 安田行宏	
2. 6 論文報告「世界国債暴落」 高田 創 25 コメント 品田直樹	
3. パネルディスカッション「金融システムはどこに向かうのか」議事録	28
3. 1 基調講演 I 「金融危機後のわが国金融システムの課題」 山口廣秀 28	
3. 2 基調講演 II 「金融危機後のわが国金融システムの課題」 大塚耕平 36	
3. 3 ディスカッション （座長）植田和男、（パネリスト）大塚耕平、池尾和人、幡鎌俊行、 氷見野良三、花崎正晴 42	
4. 参考資料：プログラム	70